

令和7年第7回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日

令和7年4月24日（木）

II 会議時間

開会時間：14時00分

閉会時間：15時30分

III 出席委員

教育長 多田 一也

委員 二宮 崇

委員 板倉 宏

教育長職務代理者 横山 純子

委員 小野 文子

IV 欠席委員

V 説明のため出席した職員

教育次長 萱 哲司

教育総務課長 琵琶 学

学校教育課長 的場 佳代

社会教育課長 久富 真吾

（書記）遠藤 真由

学校再編推進課長 森 真志

就学前教育課長 片山 琢巳

VI 会議内容

1 開 会

2 前回会議録の承認

（1）令和7年第6回教育委員会会議（令和7年4月4日）の議決事項等について

教育長の報告：年度当初あいさつ

議 事：なし

協 議：令和7年度教育委員による学校等視察の実施について（案）

他1件

報 告：なし

（承認）

3 教育長の報告

一昨日、岡山県の教育委員会の教育懇談会で、本年度の基本方針の説明があった。内容は「こどもまんなか社会」の到来で、それぞれの学校でちゃんと子どもが中心に考えられているかということで、子どもの主体性を育む教育であったり、子どもに委ねる教育であったり、そういった環境整備をしっかりとやってください、市町村は伴奏してあげてくださいというような趣旨の説明があった。こども基本法が令和4年に制定されて、それ以降学校も変わっているか、先生方はアップデートできているかといった趣旨の内容だった。

4 議 事

(1) 議案第16号 玉野市立小中学校再編準備委員会設置要綱の制定について

(学校再編推進課長) 資料により説明

(二宮委員) 第4条の準備委員会の人数について、規定は50人以内となっているが、実際50人という規模にはならないと思う。だいたいの想定としては何人くらいの想定をしているのか。

(学校再編推進課長) おおよそ50人くらいになると想定している。まず、学校関係者として校長先生と教頭先生から推薦を受けた教職員を各関係学校から2名ずつ推薦していただく予定である。次に、保護者の代表は、たとえば再編後の宇野中学校区では、田井・築港・宇野・玉・玉原・日比・二日比の各7小学校と、宇野・玉・日比の3中学校からそれぞれ2名ずつ各学校単位PTAから推薦いただきたいと考えている。各地区の代表の方は、学校運営協議会から1名程度ご推薦いただき、全体では約50人程度になると考えている。

(二宮委員) 全体が50人でそれを4つの部会に分けて部会10人ちょっとくらいの、単純計算ですけど、それくらいのと考えていいのか。

(学校再編推進課長) そうである。

(二宮委員) わかった。もう一点、反対が出ている地域だけではなくて、地域の人、PTAの方のもそうだが、地域の人にうまく関わっていただくということもポイントであると思う。反対の方はこういった意見を持たれているのかも気にはなるので、いかに準備委員会で地域の方の声を拾っていくかということも課題だと考える。各学校から1名2名だという話だと、地域の人たちの参加はどうなるのか。

(学校再編推進課長) 各学校の学校運営協議会から地区の代表という形で選出していただきたいと考えている。4つの専門部会の上に全体会を設け、各部会で検討した内容を全体会に報告して意思決定していくという流れになる。こうした全体会において、地元の方のご意見等を伺いながら進めていきたいと考えている。

(板倉委員) そこに関連して、第4条は学校再編後の学校区ごとに設置と書いてあるが、準備委員会というのは玉野市全体で一枠設置すると考えてよいか。

(学校再編推進課長) 令和7年度は、宇野・玉中・日比中学校の再編に1委員会、東児・山田中の再編に1委員会を設置する予定である。

(板倉委員) わかった。もう一つ、再編後の学校ごとに設置ということになっているが、例えば再編の対象になっていない田井小や荘内小からは委員はどういうふうに考えているのか。

(学校再編推進課長) 田井小学校も宇野・玉・日比中学校の再編に関わる小学校であるため委員の推薦をお願いしたいと考えている。

(横山委員) 第10条、委員は無報酬とすると書いてあるが、本件のような再編準備委員会の委員が無報酬というのはスタンダードなのか。

(学校再編推進課長) 他市の事例を見ると、無報酬にしている場合が多い。

(2) 議案第17号 玉野市教育委員会非常勤講師等の勤務条件に関する規定の一部改正について

(学校教育課長) 資料により説明

(3) 議案第18号 玉野市スポーツ推進委員の委嘱について

(社会教育課長) 資料により説明

(4) 議案第19号 玉野市公民館運営審議会委員の委嘱について

(社会教育課長) 資料により説明

(5) 議案第20号 玉野市立図書館協議会委員の任命について

(社会教育課長) 資料により説明

(原案どおり可決)

5 協 議

令和7年度玉野市教育行政重点施策(第1稿)

(各課長) 資料により説明

(二宮委員) 17ページと21ページに関連することで、17ページの公民館の受講者数が、令和5年で8,347人、目標値は7,000人で下がってしまうので違和感がある。21ページも同じような形で体育施設の利用者数が目標値152,582人で少し下がっている。ここは何か修正等があるか。実績値に対し、目標値が下がっているのも気になる。

(社会教育課長) 目標値は総合計画と連動している数字で、この数字は変えることができないので、その数字で設定している。

(板倉委員) 13ページで、先ほど目標値という話になったが、将来の夢とか学校に行くのが楽しいとか目標値は、本来100を目指すのが良いが、実際難しい部分もあって、今よりも少し上を目指すということになるのだろうが、上から2つ目の、将来の夢や目標を持っている生徒の目標値が実績を考えると高いが、どのように考えているか。

(学校教育課長) 中学生の目標値は実績値に比べると高くなっているが、指標として将来の夢や目標を持つ生徒と考えたときに、令和8年には8割の生徒はそういう思いを持って欲しい、令和6年度の数値はコロナ過の3年間といったところでも影響があるかなというところで、このような目標設定にしている。

(小野委員) 8ページの質の高い保育サービスの提供、小学校をきちんとするためには保幼という部分が非常に大事になるが、公立よりも私立人気というのを感じている。今度の認定こども園でもその傾向が強くなるのではと感じている。人数が少なくなると発表会とかの劇や合奏・合唱を見てもさみしくなると思うので、公立の魅力づくりに少し力を入れたらいいのではと思う。たとえば英語の教育をしたりプログラミングをしたりとか、私立に負けない何かをしているということを発信できればいいかなと。形として資料をお渡しするなど、何か発信できたらと思う。

それから11ページ、ICTを活用した授業を日常的に行っている割合の目標値が上がっているが、不登校気味の子もそのあたりができるようになればいいなと思う。それから13ページで郷土への誇りや愛着を持ちという部分、議会でも「かつからか」を小学校でも踊れるようにすると出ていたが、玉野の魅力というか、みんな

な音楽が鳴ったら踊れる、みたいなことができたらいいなと思う。15 ページのところで部活動を外部へという取組が始まるということで、先日も外で雷が落ちたということでそれが外の活動だったときにいろいろな心配ごとが起きると思うので、協議会でもしっかり形づくりをできればいいと思う。

全体としてよろしいか。ありがとうございました。

(多田教育長)

中国地区市町村教育委員会（追加）

(多田教育長) 中国 5 県のブロックの大会が、倉敷で 7 月 17 日に開催される。その中で岡山県の発表が玉野市、次期開催予定の広島ということで、結構大きな大会がある。テーマと玉野市の発表内容について、みなさんでこの内容が特徴的だからと挙げてもらえたらありがたい。難しいと思うが、玉野の教育の特徴、再編整備の大変さや部活動の地域移行、中学校区一貫教育でのいろいろな取組で特徴的なのを並べるというのもある。発表時間は 45 分。一つは荘内中の取組みを動画を使って行う。先進的なことをやっていると、初めて見る方は驚かれる。

(二宮委員) 適正規模・適正配置をこれだけの規模でやろうとしているところはなかなか無い。適正規模・適正配置をこういう形で進めて、上手くいってるところと苦労しているところを話してはどうか。

(多田教育長) たぶんほとんどの自治体が人口減のなかで、適正規模・適正配置は必ず関わってくるところと思う。その他はどうでしょうか。部活動の地域移行も入れたらどうか。関心事ではあると思う。

(二宮委員) 荘内中と適正規模・適正配置と部活動でどうか。
(多田教育長) あと中学校区一貫教育をやっているということでいい事例、こういう教育成果が上がっているなんていうのは、小小連携、中中連携なんていうのはどうかと。

(板倉委員) 日比の園小連携なんていうのは。
(多田教育長) 園小連携もそうですね。小一ギャップを。あとどうでしょうか。
(小野委員) 子ども学級はどここの市でもしている取組ですか。

(多田教育長) どうでしょうね、子ども学級、おさらい会。
(板倉委員) 子ども学級は以前あまりしてませんでした、今は多くはされてるんじゃないかと。

(多田教育長) 他よろしいでしょうか。

6 報 告

(1) 令和 7 年 3 月定例市議会一般質問概要について

(萱次長) 資料により説明

(2) 玉野市内高等学校における令和7年度入学者選抜実施状況について

(学校教育課長) 資料により説明

(3) 本市の生徒指導の現状と課題・取組について

(学校教育課長) 資料により説明

(横山委員) 報道でもいろいろあるので、玉野市ではどのようになっているだろうかと思っていた。報告をいただいて、いろいろあるという認識をあらためてした。特に気になっているのは、いじめの重大事態で、市は認知されているのか。

(学校教育課長) 今回学校から上がってきたものや、難しい事案は随時報告しており、対応や状況を確認して一緒に進めている。今のところ重大事態までいっていないが、重大事態に近い状態のものもある。対応しながら、これは重大事態になるかどうかということも確認し把握しながらやっているところで、もし重大事態となるケースが起きたときに、どうやって対応しないといけないかということも検討して相談しながら対応しているところである。

(横山委員) 仮に、重大事態になった場合、組織として動くためのフローチャートはあるのか。

(学校教育課長) だいたいの形はある。大まかな、もしもの場合こういう流れでというものはあるが、すぐに動けるかというとなかなか難しい状況になっているので、状況を見ながら、場合によってはすぐ動けるように確認しながらといった状況である。

(多田教育長) 学校現場の話を聞かせてもらっていいか。いじめとか委員会設置しているか。

(板倉委員) はい、設置してたとえば毎月や学期ごとに集まっていじめ対策について協議をしたりしている。それから教育委員会と同じように、学校としてもいじめをどうやって見つけてどうやって対応していくかについてはマニュアルのようなものを作ってあって、こういうときにはこうしましょうと、それに沿って動いている。

(多田教育長) 何かあったらすぐに共有して、教育委員会とも連携してという形ですね。そのほかいかがか。

(板倉委員) さきほど認知件数が増えているという話があったが、よくないのは見過ごすことや、気がつかないとか気がついても何もしないということである。今後も数は増えていくだろうが、しっかり細かいものまで認知して、学校と教育委員会が情報共有しながらいじめが少しでも、大きなことにならないようにしていけたらと思う。事務局では相談に乗るのと支援をしていけたらいいと思う。

(多田教育長) そういう情報が学校へ入っているのだから数値的には認知の数が上がっているのかと思う。

(板倉委員) ずっと昔は、いじめがあったら恥ずかしいみたいな意識が学校の中にもあったような気がする。だけど、いじめというのはどんな

学校にも起こりうることなので、それを見過ごさずにきちんと対応するのが大切だと思う。

（４）玉野市史編さん委員会委員の任命について

（社会教育課長） 資料により説明

７ 閉 会

次回、教育委員会定例会は令和７年５月２２日（木）１４：００から開催するので参集願う。以上で、令和７年第７回教育委員会を閉会する。

会議録調整者	書記	遠藤 真由
--------	----	-------

会議録署名委員	教育長	多田 一也
---------	-----	-------

教育長職務代理者	横山 純子
----------	-------